

平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

1、事業の成果

プレアビヒア寺院は、一昨年7月にタイ・カンボジア両国軍隊が撤退した以降、この約一年半落ち着きを取り戻し平穏な状態が保たれている。また予め積極的に行われてきた道路整備により、カンボジア側でのアクセスが格段に改善され、寺院を訪れる参拝客・観光客の数は日々増加している。このなかで昨年11月、オランダの国際司法裁判所判の判決が下され「寺院がカンボジアに帰属する」ことが確認された。今後の発展にむけさらなる安定が期待される。

カンボジア政府が自然環境を護るため、環境保護地域に隣接して新しく開発したエコ村は、近隣住民やカンボジア各地からの移住者の移転が進み、現在3千を超える家族が生活をしており、小学校2校に加え中学校も開校されている。しかし住民は、生活の基盤となる農業技術の不足から食の自給さえ困難で、貧困から脱却できない状況が続いている。このため生活の糧を出稼ぎに求めるひと、離村するひとでも出ており、このまま放置されればまた無秩序な乱開発が起こりうると懸念される。

当会はプレアビヒア寺院が世界文化遺産に登録された2008年の翌年3月に設立され、今年2014年3月に5周年を迎えた。

設立当初より、この世界遺産の最大の特徴が遺跡と大自然の共鳴にあり、それを持続的に守るのは自立した住民とそのコミュニティと認識し、自然環境と住民を守ることを柱に活動を進めてきた。しかし、タイ・カンボジア両国の紛争により、公的・私的にも大きな支援を得ることが難しい状態が続き、遺憾ながら農民の生活改善に直接結びつく活動をなかなか思うように進めることが出来ないでいる。

このなかにあって、植樹祭や写生大会は助成金交付等の支援を受け実施し、活動を通じ住民のコミュニティ醸成に少なからず貢献できたと考えている。とくに学生隊派遣は8次におよび、地道に行われている住民の生活調査や写生大会・運動会など小学生と一緒に進められる現地活動は住民・小学生に定着し、地元新聞からも高い評価を得ている。

最近の環境改善・安定により、漸く当会も次の段階を目指すことが出来るようになってきた。

(1) 植樹活動

第2回植樹祭（緑の募金公募事業）を6月に開催した。今年は地域の住民リーダー（小学校校長、農民リーダー）を中心に小学生・児童が主役となって地元住民、日本・カンボジアの大学生も参加して行われ、寺院からよく見える古代西バライ周辺、主要道路の並木の植樹に着手した。並木道は今後他の団体へも参画を呼びかけ延伸を図る計画であり、植樹後の小学生へのフォロー教育や学生隊によるメンテナンス実施など、植樹事業の継続につながる活動も行った。

(2) 農村支援活動

初めて農業専門家による現地調査を行った。モデル農園による周辺住民への農業技術の普及が思うように進んでいないこと、職業訓練所との連携など課題を指摘されたが、今後事業の中心となるオーガニック農業推進のための土壌改良について指導を受けた。

(3) 教育支援活動

今年度、学生隊の派遣は3回行われた。小学校2校での日本企業の支援を受けた写生大会、運動会を行うと共に、植樹などを通じ自然環境保護や世界遺産教育を行った。

(4) 会員増強活動

メンバー数(平成26年3月31日現在)

正会員19名 賛助会員131名（うち一般会員65名、学生会員64名、団体会員2名） 計150名

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
アジア地域の遺跡周辺自然環境保全、修復事業	遺跡周辺整備 (境内の遺跡を除く周辺部コンセプト作成、当面必要となる事項の検討)	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、観光客200,000人/年	プロジェクト調査費
	バッファークゾーン(環境保全区域)の保全整備 (遺跡周辺20キロメートル四方内の地域)コンセプト作成、提案協議、現状の調査	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、観光客200,000人/年	現地調査 基本構想 提案協議
植林、植樹、苗木の育成および事前調査事業	植林 (遺跡周辺、バッファークゾーン、エコビレッジの植林)現状調査、中長期の事業計画の作成準備、第2回植樹祭開催	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	270人	住民45,000人	植樹祭 2,453
地域住民の生活向上と自立のための人材教育、職能訓練、農業支援事業	農村開発支援 エコビレッジオーガニック農業調査、導入・普及、(地域住民の生活向上とコミュニティ形成)モデル農園による農業技術普及、	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、タイ国農場、東京法人事務所	20人	住民45,000人	農業調査、オーガニック農業導入準備 1,270
遺跡並びに周辺地域の観光資源開発支援事業	ウェルカムビレッジ(エコツア客用滞在施設)開発 宿泊設備の整備 コンセプト作成、提案、協議 中長期の事業計画の作成準備	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、滞在者3,000人/年 観光客200,000人/年	プロジェクト調査費
	観光プログラム開発 スタディツアー (現地体験研修) エコツアーリズム (環境問題体験ツアー) ヘリテージツアー (遺跡巡りツアー) などの開発支援	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	スタディツアー参加者10人、観光客200,000人/年 カンボジア住民50人×365日のべ18,000人/年間(雇用促進受益者)	プロジェクト調査費
子どもたちのための教育支援事業	教育支援プログラム策定 (文化遺産・環境保全教育) 小学校学校生活環境改善教育、 写生大会、運動会	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	50人	子どもたち10,000人	写生大会、各種教育支援 677

日本のNGOと海外のNGOとのネットワーク調整及び交流事業	ネットワーク作り 日本及び海外他NGOとのネットワーク作り カンボジア留学生との交流	年間	東京および全国各地 韓国、フィリピン、ネパール、台湾、マレーシア、中国 カンボジア国ブレアビヒア遺跡周辺	10人	NGO関係者 1,000人 カンボジア留学生300人	連絡、会議費
遺跡全般に係る広報事業	広報活動 ①ホームページ ②チラシ配布	年間	カンボジア国ブレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所、東京、栃木県	20人	関心ある一般市民2,000人	ホームページ 203

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
物品販売事業	なし	なし	なし	なし	0
機関紙等への広告掲載事業	なし	なし	なし	なし	0